

## 宝鋼と沙鋼が提携 = 国有、民営トップが協力

23 日付の新華社の報道によると、中国の国有最大手の宝鋼集団（上海市）と民営最大手の江蘇沙鋼集団（江蘇省張家港市）は 2 月 23 日、戦略提携協議書に調印した。

宝鋼集団の徐樂江会長によると両社は今後、技術・管理、製品・市場、資源・物流などの分野で協力関係を強化する。協議書に基づき宝鋼は沙鋼に技術や管理を提供し、双方の市場競争力を高める。また、宝鋼は沙鋼が形成した市場競争での独自の優位性の提供を受ける。

昨年の粗鋼生産量は宝鋼が 4457 万ト、沙鋼が 2640 万トだった。昨年 3 月に発表された鉄鋼産業調整・振興計画は、2011 年までに宝鋼集団、鞍本集団、武鋼集団などを生産能力 5000 万ト以上で、国際競争力を持つ特大型鉄鋼企業に育成することをうたっている。第一財經日報が 1 月に配信した記事によると、両社の協力協議は 2007 年から始まり、株式の相互保有も協議の対象に入っていた。23 日付新華社電では資本提携については触れていない。

第一財經日報によると宝鋼と沙鋼が市場としている地域は非常に似ているが、製品構成には差がある。宝鋼は自動車、家電などの高級板材に優位性を有しており、沙鋼は建築鋼材を得意としている。